

オハイオ州フィンドレー大学奨学生レポート

「international fashion show、そして…」

こんにちは。こちらはサマータイムが始まりました。店員さんが、暖かくなったと感じたら営業再開する(!!?) アイスクリーム屋も本年度の営業を開始しました。そのような周りの雰囲気から、ついに春が来た!!!! と、喜んだ翌日は雪が降る…。気温もまだ 1 度ほど。春はまだ先のようです。

2 月は international fashion show というイベントがありました。アメリカ人の学生はもちろん、世界各国からきている留学生たちが自分たちの国のファッションを紹介するショーです。ショーのテーマは「カルチャーショック」。多くの人にとって身近である衣服だからこそ、お客さんに伝えること・感じてもらえることがあるのではないかと考え、衣服を通して異文化を知ってもらいたいという願いが込められています。



▲ショーの一場面



▲日本チーム

このショーにはアメリカ、ナイジェリア、南アフリカ、ナイジェリア、ルワンダ、パキスタン、サウジアラビア、ベトナム、中国、そして日本の 10 か国が参加しました。

ショーの構成は、各国さまざまでした。アメリカやアフリカ大陸の国はダンス、パキスタンは歌唱、サウジアラビアは劇、ベトナムと中国はショー。

日本は伝統的な着物・浴衣、そして現代のロリータファッション・コスプレを扱いました。ダンスや劇を入れ、流れを意識した構成にしました。こだわった点は、アメリカとの接点を流れに組み込んだことです。アメリカでするショーだから、アメリカとの出来事をショーに組み入れたいと考えたからです。具体的には、伝統的から現代へ移り変わる分岐点として文明開化・日米和親条約を取り上げました。(日本では歴史的重要な出来事「ペリー来航」、アメリカ人は知りませんでした。)

ショーが終わった後、多くの方に「日本のショー、すごくよかったよ。」と言っていただけ、頑張ってたよなと思いました。その中で、印象に残っているのが、「ポケモンって日本のアニメだったのか、アメリカのだと思っていたよ。」というサウジアラビア人からの一言です。まさか、知らない人がいるとは思っていませんでした。多くの人知っているポケモン。しかし、それがどこから来ているのか知らないなんて。



▲ポケモンのコスプレ

アメリカに来てから、このような場面に直面したことが何回かあります。たとえば、お寿司。まさか、代表的な日本食を、中国の料理だと思っている人がいるなんて。驚きでした。

そのうちの一つの理由はレストランにあると思います。こちらで日本食を食べようとレストランへ行く場合、日本料理屋さんではなくアジア料理屋さんへ行きます(日本食しか扱っていないレストランもありますが…)。そこで、中国・韓国・ベトナムなどほかの国の料理がある中、うどんやお寿司を注文するのが普通です。なので、アジアの料理だということは伝わっても、それが日本料理か否かはわかりません。そして、このことは彼らにとって大した問題ではないのです。

ポケモンやお寿司は、誰もが知っている日本文化だと思っていた私も、考えが甘いなど感じましたが・・・このような状況、歯がゆく思いました。

私はいろいろな国の文化に接することが好きです。なので、自分が新しいものに出会った際、ワクワクし詳しく知りたくなります。また、日本に少しでも興味があるならたくさん知ってほしいと思います。興味・関心があるものを、実はよく知らないって悔しくないですか？

そのような思いを行動に移すべく、元気キッズという日本に興味があるアメリカ人の小学生を対象としたプロジェクトに参加することにしました。日本に興味をもってくれた彼らが、さらに興味を深めることができるようにお手伝いできたらいいなと思っています。